



喜多流自主公演

令和二年二月

雲林院 長島茂
絹院 出雲康雅

令和2年 2月23日(日)

12:00開演(11:00開場)

十四世喜多六平太記念能楽堂

料金:全席指定(税込)

S席 9,000円 A席 8,000円 B席 7,000円

C席(1階後席) 6,500円 D席(2階席) 6,500円

学生席(2階席) 2,500円(25歳以下、要学生証提示)

- ・午前11時15分より、本舞台にて当日の演目の解説をいたします。お気軽にご参加ください。
- ・当日券をご用意できる場合は午前10時45分より発売いたします。

主催:公益財団法人 十四世六平太記念財団

協力:喜多流職分会

後援:品川区、品川区教育委員会

チケット予約購入のご案内

インターネット

喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>
(24時間対応、要登録・無料)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際画面に表示された番号をレジにご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。ご予約の際クレジットカードで先にお支払いを済ませていただくことも可能です。

② 喜多能楽堂事務局 窓口

クレジットカードでお支払いの上(ホームページでのweb決済)、ご予約の際に画面に表示された番号を窓口にご提示いただき、チケットをお受取りください。現金でのお支払いはできません。

電話予約

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813

(午前10:00～午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際お伝えする番号をレジにご提示の上、チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。

② 郵送

チケット代金と手数料を指定の銀行口座にお振込みください。入金確認後、簡易書留にてチケットをお届けいたします。

③ 喜多能楽堂事務局 窓口

ご予約の際お伝えした番号を窓口にご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金のみとなります。

窓口

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813

(午前10:00～午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

お支払いは現金のみとなります。

※お受取り・お支払い方法によって別途手数料がかかります。

ご予約の際ご案内いたします。

※令和元年度公演の後半5回分は発売中です。令和2年度公演の前半5回分は令和2年2月3日(月)午前10時より発売いたします。

※ご予約いただいたチケットのキャンセル、変更はできません。

ご注意

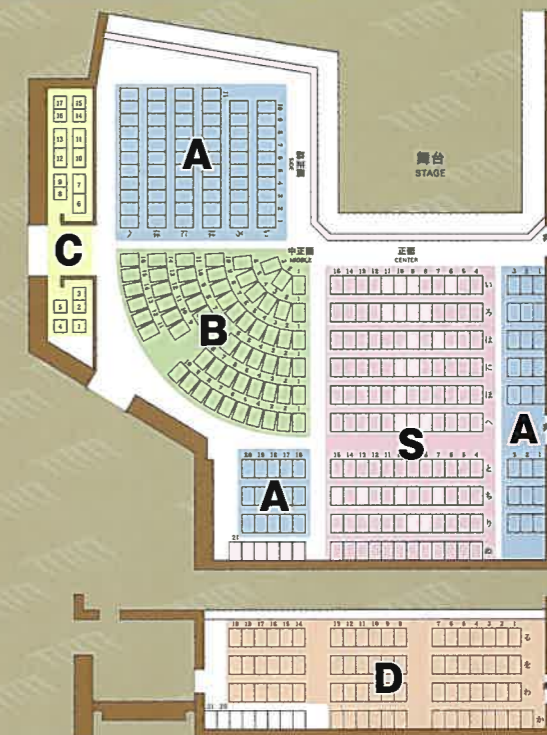
- ・開演中の途中入場はお断りいたします。
- ・未就学児童のご入場はご遠慮ください。
- ・やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
- ・許可なき写真・ビデオ撮影、及び録音はお断りいたします。
- ・客席での携帯電話やスマートフォンなど音や光の出る電子機器のご利用はお断りいたします。
- ・ロビー・見所でのご飲食はできません。2階ラウンジをご利用ください。
- ・喜多能楽堂は全館禁煙です。屋外喫煙所をご利用ください。
- ・お席を離れる場合は貴重品、お手回り品にご注意ください。盗難・紛失についての責任は負いかねます。コインロッカーもご利用ください。
- ・係員の指示に従っていただけない際には退場していただく場合がございます。

喜多流自主公演年間優待券

5枚綴り 35,000円

- ◆ご希望のどの席でもお選びいただけるお得な年間優待券です。
- ◆お求めは喜多能楽堂事務局まで。各喜多流職分でも承ります。
- ◆ご観能の際は別途、座席指定券をご予約ください。
 - ・追加料金はかかりません。
 - ・ご予約は、インターネット、電話、窓口で承ります。
 - ・年間優待券のみでの観能はできません。
 - ・ご入場の際は、年間優待券と座席指定券をご提示いただきます。
- ◆ご利用は、表記年度中(4月～3月)の喜多流自主公演のみ有効です。青年能には使用できません。

自主公演観客席御案内



S席	9,000円	C席(1階後席)	6,500円
A席	8,000円	D席(2階席)	6,500円
B席	7,000円	学生席(2階席)	2,500円

会場案内図



JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分。目黒駅西口よりドレメ通りを直進。杉野学園体育館手前を左に入る。

※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車でのご来場はご遠慮願います。

十四世喜多六平太記念能楽堂

〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9

TEL: 03-3491-8813 FAX: 03-3491-8999

喜多能楽堂ホームページ: <http://kita-noh.com/>

能

後シテ・在原業平の霊
前シテ・老人 長島 茂

雲林院

ワキ・蘆屋公光 殿田謙吉
ワキ連・従者 則久英志
ワキ連・従者 御厨誠吾
アイ・北山辺の者 山本凜太郎

大鼓 安福光雄 太鼓 三島元太郎
小鼓 森澤勇司 笛 松田弘之

後見 塩津哲生
谷 大作

地謡 粟谷浩之 狩野了一
内田成信 粟谷明生
友枝雄人 大村定
粟谷充雄 中村邦生

休憩(二十分)

狂言

伊文字

後シテ・通りの者
前シテ・女 山本東次郎

アド・主 山本則孝
アド・太郎冠者 山本則俊

仕舞

東北

佐々木多門

地謡 谷 友矩
松井 彬
大島政允
内田成信

休憩(十分)

能

シテツレ・男 狩野祐一
シテ・巫女 出雲康雅

巻絹

ワキ・臣下 森 常好
アイ・太刀持 山本則重

大鼓 亀井広忠 太鼓 大川典良
小鼓 鶴澤洋太郎 笛 槻宅 聡

後見 香川靖嗣
高林呻二

地謡 佐藤 陽 佐々木多門
塩津圭介 金子敬一郎
友枝真也 粟谷能夫
佐藤寛泰 大島輝久

附祝言

終了予定時刻 三時五十分頃

雲林院(うんりんいん)

撰津国蘆屋の里の公光(きんみつ)という人は「伊勢物語」の愛読者だった。ある夜のこと、霊夢を見て紫野の雲林院へ参る。訪ねると桜の花が咲き乱れており、一本枝を折ったところへ「心なきものよ」と咎める老人が現れる。しかし公光は乞うも盗むも心あつてのこといずれば散る花ではないかという。老人は無情の風は花を散らす枝のまま折るべきではないとたしなめる。二人は桜を詠んだ古歌をうたいあつて春の風情を惜しむ。公光は霊夢に導かれて来たと告げると、老人は自分が在原業平であるとほめかけて消えて行く。「中人」やがて朧の月影に仮寝する公光の前に在原業平の霊が現れる。「伊勢物語」にある二条の后との恋を物語り、昔を思い返して優雅に舞い、姿を消す。

(約一〇〇分)

伊文字(いもじ)

ある主人は太郎冠者を連れて妻乞いのお参りの為に清水の観世音へやってきた。西門に立つ女を妻にせよとの夢の御告げを受けたので行ってみると、案の定、女が立っており女は「恋しくば問うても来たれ(来ませ)伊勢の国 伊勢寺もとに住むぞ妾は」と言つて消えてしまう。しかしきちんと覚えられなかった太郎冠者は、主人と一緒に歌関を作り、通りがかった者に下の句は「い」の字がついた国と里の名であろうと推察して歌のあとをつけさせる。さて、女の住処を当てられるのであろうか。

(約三十分)

巻絹(まきぎぬ)

時の帝の夢想によつて、紀州の三熊野神社へ千疋の巻絹を奉納するため諸国へ調進を命ぜられたところ、京の都からの分がまだ届かない。上納品を携えた都の男が熊野に着いてまず音無の天神社へ参り、咲き匂う冬梅の香を賞でて一首の歌を詠んでいた為に遅参したのである。官人はその男を縛つて罪を責める。すると、音無の天神の霊が乗り移った巫女が現れ、この男は昨日自分に歌を捧げた者であると言つて男の縄を解くよう命じる。臣下はこのような男に歌が詠めるわけがないと疑うので巫女は男に上の句を、巫女が下の句をつけて証明し縄を解く。そして巫女は和歌の徳や神仏の威力を説き、祝詞を上げ神楽を奏するうちに神がかりとなり、狂い舞つて舞の手を尽くし、時が経つと神気が離れて本性にかえる。

(約六十分)

令和二年三月自主公演番組予告

令和二年三月二十二日(日)正午始
十四世喜多六平太記念能楽堂

弓八幡 粟谷浩之
羽衣 谷 大作
舍利 大島輝久